

初台リハビリテーション病院

初台リハビリテーション病院に新しい仲間が増えました

2021年5月よりAiboが病棟に配属になり、現在は病棟のステーションにて患者さまのリハビリのお出迎えをしております。先日行われた職員のコロナワクチン予防接種の時も職員を見守ってくれました。環境や人との関係によるふれあいの中で個性を獲得し成長していくとのこと。これから患者さまやスタッフとのふれあいの中で皆さまに癒しや笑顔にしてくれる存在になってくれたらと思います。



船橋市立リハビリテーション病院

院内照明のLED化

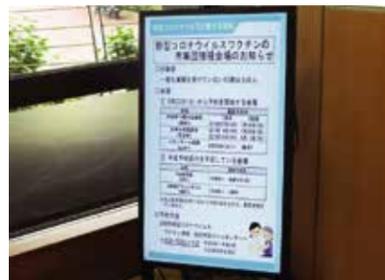
5月に約1ヵ月をかけて院内照明のLED化工事を行いました。患者さまのスケジュール、入院生活に支障が無いように作業を進め、無事に工事を完了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。電球切れなど患者さまにご不便をおかけすることも無くなり、電球の交換作業等の業務削減になりました。また、環境への配慮や電気代の大幅な削減につながりました。これからも患者さまにとって安心安全な施設管理を行ってまいります。



船橋市リハビリセンター

デジタルサイネージをご存知ですか？

最近、駅前やお店など電子化された広告やポスター等を見かける事は多いかと思えます。当センターでもお知らせや様々な情報を発信出来たらと思い、クリニックにデジタルサイネージを設置しました。このコロナ禍で気になる情報があっても情報誌や冊子を手取ることに躊躇してしまった経験がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ デジタルサイネージを活用し、皆さまが気兼ねなく必要な情報に触れることが出来ることを期待しています。是非注目してご覧ください。



在宅総合ケアセンター元浅草

果てしなくのびろ! 竹!

本年の実りの会のテーマは竹です。たいとう診療所のSTリハを利用された67名の皆さまの思いを、まっすぐどこまでも伸びる竹に託しました。これまでは、利用者交流会を開催し、利用者さまによる講演、詩吟や歌唱の発表、在宅生活の様子を録画したビデオ上映などを行ってききましたが、今回は新型コロナウイルス対策のため、1Fにて作品の展示のみの実施となりました。ご参加いただいた皆さまの夢や希望が詰まった素敵な作品になりました。



在宅総合ケアセンター成城

今年も「公社けやきの会」が始まりました

「公社けやきの会」とは、公社祖師谷住宅における高齢者の生活課題について話し合い、支えあいについて考える会です。地区の社会福祉協議会によって1~2カ月に1回開催され、まちづくりセンター、地域包括支援センター、自治会、民生委員協議会、地区サポーター、日赤奉仕団など、様々な立場の方々が参加しています。私たちが在宅総合ケアセンター成城もリハビリテーションの立場から、2018年発足時から参加しています。



~熱中症を予防しましょう~

熱中症が怖いからと閉じこもってしまえば、免疫力が落ち、病気になるリスクが高くなります。今回は、そんな熱中症に対する予防や対策方法をご紹介します。



熱中症はどんな症状？

熱中症は重症度によりⅠ~Ⅲ度に分けられます。

- Ⅰ度** (軽度：その場の応急処置で対応可)
たちくらみ、めまい、筋肉痛、こむら返り、大量の発汗
- Ⅱ度** (中等症：病院へ搬送が必要)
頭痛、気分不快、吐き気、嘔吐、倦怠感や虚脱感
- Ⅲ度** (重症：入院や集中的治療が必要)
意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温

予防対策 暑い季節を乗り切ろう!

生活習慣で!

1. 家ではクーラーを使用しましょう。
2. 筋肉は水分の貯蔵庫です。
筋肉量を維持するよう心がけましょう。
3. タンパク質・水分・カリウム・ビタミンをバランスよく摂取しましょう。旬の食材がおすすめ!
4. 食事以外でも水分を1日に1200ml取りましょう。
ミネラル豊富な麦茶がおすすめ。
汗をかいたら塩分補給も大切です。
利尿作用のあるカフェインやアルコールは、熱中症対策には向きません。



外出前の準備で!

1. 気温と湿度を確認しましょう。無理はしないこと。
2. ゆったりとした服装で、肌と服の間に隙間を作り、風通し良くしましょう。ノースリーブより半袖や七分丈の方が体感温度を下げるのに◎。綿や麻など、吸水・速乾性に優れた素材を選びましょう。
3. 日傘や帽子(後頭部にも影がでるもの)、扇子、飲料、濡れタオルを持参しましょう。
4. ストレッチや体操を10分ほどすると、急な体温や心拍数の上昇をおさえる効果があります。また、体温測定をして平熱の確認をしておきましょう。

外出中の注意で!

1. 濡れタオルで汗をふくと、気化熱で体温を下げる効果があります。乾いたタオルより発汗を抑える作用もあります。
2. のどが渇く前に水分補給を。
人は呼吸だけで1日1ℓ以上の水分を失うとのこと!
3. こまめに休憩しましょう。
4. 屋外では、マスクは周囲の人との距離が2m以上離れた状態では外し、深呼吸しましょう。

帰宅したあとの習慣で!

1. 急に休まず、ストレッチや体操をしましょう。疲労を持ち越さない効果があります。
2. 体温を測定し、平熱より高いようなら首筋や脇を冷やしましょう。

参照：船橋市リハビリセンター リーフレット「熱中症」
<https://www.cbr-funabashi.com/know/>

季刊情報誌「輝NET」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F <https://www.kiseikai-reha.com>

初台リハビリテーション病院	〒151-0071	東京都渋谷区本町3-53-3	TEL.03-5365-8500	https://www.hatsudai-reha.or.jp
船橋市立リハビリテーション病院	〒273-0866	千葉県船橋市夏見台4-26-1	TEL.047-439-1200	https://www.funabashi-reha.com
船橋市リハビリセンター	〒274-0822	千葉県船橋市飯山満町2-519-3	TEL.047-468-2001	https://www.funabashi-rehacen.com
在宅総合ケアセンター元浅草	〒111-0041	東京都台東区元浅草1-6-17	TEL.03-5828-8031	https://www.motoasakusa-reha.com
在宅総合ケアセンター成城	〒157-0072	東京都世田谷区祖師谷3-8-7	TEL.03-5429-2292	https://www.seijo-reha.com

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。 contact@kiseikai-reha.com

輝生会の 基本理念と方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「人間の尊厳」の保持 ■ 「主体性・自己決定権」の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域リハビリテーション」の推進 ■ 「ノーマライゼーション」の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「情報」の開示
輝生会における 患者さまの権利	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権を尊重される権利 ■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最善の医療を受ける権利 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自らの意思で選択・決定する権利 ■ プライバシーの保護を求める権利

輝生会の障がい者雇用とその先へ～障がい者雇用プロジェクトのご紹介～

輝生会には障がい者の雇用を促進するプロジェクト、通称「きらっとチーム」があります。そして一緒に働いている障がいのあるスタッフを、親しみを込めてきらっとスタッフと呼ばせて頂いています。

障がいのある方の雇用・定着を促進し、チームの一員として働きやすい環境をつくること、この使命を「ALL 輝生会」として職員皆で実現することを目標に活動しています。今回はこの場をお借りして、私たちの活動や思い、そして「その先」についてお伝えしたいと思います。

障がい者雇用制度とプロジェクトの発足

日本では障害者雇用促進法が制定され、令和2年時点で、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合の雇用が義務付けられています。しかしながら表のとおり、全国の法定雇用率達成企業の割合は48.6%でした。雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新したものの、障がい者雇用の問題はいまだ社会全体の課題です。

輝生会では、法律で定められた雇用人数の達成とともに、理念で求める「共生社会の実現」に向けて取り組むべく、障がい者雇用促進プロジェクト「きらっとチーム」が活動しています。

令和2年6月1日現在における障害者の雇用状況

民間企業における雇用状況(法定雇用率2.2%)

	①法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数	②障害者の数	③実雇用率	④法定雇用率達成企業の数/企業数	⑤達成割合
民間企業	26,866,977.0人 (26,585,858.0人)	578,292.0人 (479,989人) (578,292.0人)	2.15 % (2.11%)	49,956 / 102,698 (48,898 / 101,889)	48.6% (48.0%)

※〔 〕内は実人員。
厚生労働省 令和2年 障害者雇用状況の集計結果(令和3年1月15日発行)より抜粋

障がい者雇用促進を支える、輝生会の理念と思い

輝生会は5つの理念を掲げており、その中でも「人間の尊厳の保持」、「ノーマライゼーションの実現」、「主体性・自己決定権の尊重」の理念は障がい者雇用においても大切な視点になります。

『障がいや病気の有無に関係なく、自分らしく輝きながら仲間の一員として働いてほしい。』『その実現のために、支援や問題の解決をしていきたい。』そんな思いで日々取り組んでいます。

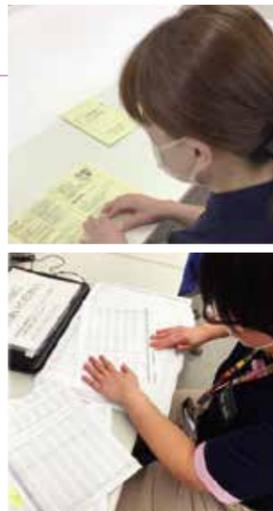
輝生会の方向性

ノーマライゼーションや共生社会の実現を目指す輝生会では、障がいの有無に関係なく、同じ病棟や事務所で分け隔てなく活躍してもらえよう、周りを巻き込んでいくスタイルを採用しています。

「この障がいがある=この部署この業務」と決めつけない輝生会のスタイルは、社会の動きや理念を踏まえているだけでなく、障がいのあるスタッフ・周りのスタッフ双方にとってメリットが大きいのです。

実際の現場から

きらっとスタッフからは「挨拶もあたり前にしてくれて、いつも〇〇してくれてありがとうと声をかけてもらえて嬉しい」「ダメなところもはっきり言ってくれるので働きやすい」といった声が聞かれます。上司や同僚と一緒に働ける環境は、居心地よく、やりがいのある職場環境です。そして周りのスタッフにとっても、仲間意識や当事者意識が芽生えるのはもちろんのこと、「正確に内容を伝えるにはどうすればいいか」「これはやり方を変えよう」と自身の業務の見直しができ、業務改善につながります。皆が使うもの・必要な業務を、皆と同じ場所でやるからこそ、互いにより良くしていこうという風土ができると考えます。まだ道半ばですが、「多職種によるチームアプローチ」や「One for All, All for One」を大切にする輝生会らしい姿ではないかと思えます。



チームの活動



周りを巻き込んでいくには、細やかなフォローも必要です。きらっとチームは各拠点サポート部長や部門長、きらっとスタッフなどで構成されており、毎月1回、オンラインミーティングを行っています。きらっとスタッフ自身や上司であるスタッフの近況確認をしながら、困りごとや課題がないかを報告しあい、解決方法を共有しています。

また、輝生会スタッフが参加する「輝生会合同研究発表会」(現在はオンラインで実施)で、きらっとチームの紹介や活動報告を行い、全スタッフに向けて広く発信しています。



その先へ

誰もが他人と違う個性や背景を持っています。本人が望んで選んだものもあれば、生まれつきだったり、望まずして人生のお供にしていたりするものもあると思います。互いにそれらを認め合い、必要に応じて配慮や気遣いをしつつ、けれども腫れ物に触るような特別扱いはせず「普通に」接する。患者さま・利用者さまに対してはもちろん、職員に対してもそうした関わり合いをすることを私たち輝生会は目指しています。その実現のための一つの糸口として、私たちきらっとチームは活動しています。

しかし、障がいのある方に特化したプロジェクトがあり続けるのも、本当のノーマライゼーションや共生社会の実現ではないのかもしれませんが、ゆくゆくは、私たちの活動や思いが輝生会全体により浸透し、数人のプロジェクトではなく全員がメンバーといえるぐらいになるのが理想ではないかと思っています。

ALL輝生会で、障がいがあっても働きやすい職場づくりを目指していきます。



石川 誠 会長 逝去のお知らせ

当法人会長 石川 誠は、2021年5月24日朝に逝去いたしました。享年74歳でした。かねてより療養中ではありましたが、4月までは、入社式にも参列し、また会議や研修の講義がある日は出勤しておりましたので、あまりにも早い天国への旅立ちに、職員一同まだ驚きと悲しみを拭いておりません。また、患者さま、利用者さまにおかれましても、残念なお気持ちで訃報をお知りになった方もたくさんいらっしゃったかと思えます。

敬愛され、尊敬された会長でした。輝生会を創出し高い理念を掲げ、「One for All, All for One」を合言葉に、輝生会をここまで導いてこられました。この石川会長の思いは、輝生会職員ひとりひとりの心にしっかりと刻まれております。輝生会として理念を実現すべく、思いを引継ぎ、より一層一丸となって歩んでまいります。

次号の輝net(10月号)にて、石川会長の歩み、リハビリテーションへの思いなど特集する予定であります。発行の際には、みなさまにもご一読いただきたく、よろしくお願いたします。

